

## 仙人通信 (200) 宝登山(497m)・長瀨アルプス

宝登(ほど：火止)山は、長瀨の北側に位置する山で、日本武尊が山頂から大和の国を遙拝するために登った折、山火事に襲われ山犬に助けられた事により、火止山とした事に由来するとある。一方山頂までのケーブルカーもあり、小さな動物園やロウバイ等の花の山で2等三角点の山でもある。

長瀨駅前の駐車場に車を置き、宝登山神社から奥宮を経て山頂、そして長瀨アルプスから野上駅に向かい、国道沿いの道を車まで戻るコースとした。

宝登山神社の参道に設けられた大鳥居を潜り 10 分程進むと、右手にケーブルカーへの道を分ける。本殿や社殿を見ながらの登りだ。杉の木立の中に作業用の車が行き交う程の比較的広く舗装された林道である。やがてケーブルカーへの連絡道と分離し、砂利道となる。

35 分程進むと南側が開かれた展望地で四阿があり、長瀨の先に皇鈴山等の山脈が望めた。更に 6 分程で階段が造られた登山道のスタートである。檜・桜等の落葉樹のコースからは武甲山を初め南西方向の山脈が望める。10 分程でロウバイの林が始まり、ケーブルの山頂駅である。1500 株もあるロウバイは 3 分程咲いていた。又満開を過ぎた寒桜そして蕾のミツマタだ。山頂直下の奥社にお参りして、丁度 1 時間程で 2 等三角点の山頂である。

南西方向が開け、ロウバイの花の上に嘗て登った城峰山・両神山・熊倉山・武甲山等が、僅かに雪を付けているのが一望出来た……。

小休止を取ってから檜林の中に作られた段差のキツイ階段を 25 分かけて寝小屋と白山神社を結ぶ舗装された林道の分岐点に着く。長瀨アルプスを示す道標に従い白山神社方向へと進む。緩やかな下りのコースの右側の土手には、長瀨岩畳と同じ節理の露岩が確認出来た。因みにこの地は、御荷鉾緑色岩類に属するらしい。

15 分程で南が開かれた小鳥峠で、ここからは落葉樹の明るい緩やかな傾斜の尾根道である(長瀨アルプスの始まりだ!!)。15 分程で氷池コースとの分岐である野上峠である。

頬の白いホオジロの仲間だろうか、近くまで来て轉ってくれて嬉しい!

20 分程で萬福寺方面と御岳山の分岐である。御岳山は右上の尾根を登る。

このコースは登山者が少ないのだろうか、落葉に埋もれておりピンクのマークが見逃せない。15 分程で御岳山(357m)である。石の碑の前には正月用のしめ縄がまだ飾られていた。天狗山をへて下山するのであるが、秋葉神社等の碑が 15 近くしめ縄で飾られて随所にあり、最後は赤い鳥居のお稲荷さんで民家の近くに 15 分程で下山できた。

国道 140 号に並行している県道を 25 分掛けて駐車場に戻った、3 時間 40 分(18500 歩)の山旅とすることが出来ました。

(R2.1. 16)

ロウバイ

両神山

山頂

アルプスのコース

